

4. 鳥類調査結果の概要

鳥類調査結果の概要

(1) 分布状況からみた河川環境の特徴

今回とりまとめを行った 24 水系 24 河川で確認された鳥類は、17 目 52 科 244 種でした。確認種数の多かった河川は、中部地方の矢作川で 121 種、関東地方の荒川、四国地方の那賀川で 120 種でした。

(2) 特定種一覧

今回とりまとめを行った 24 河川で確認された特定種は、特別天然記念物、レッドデータブック絶滅危惧 IA 類に指定されているコウノトリ、クロツラヘラサギ、レッドデータブック絶滅危惧 IB 類に指定されているアカアシカツオドリ、サンカノゴイ、ツクシガモ、オジロワシ、クマタカ、セイタカシギ等 33 種でした。特定種の確認された種数が多かった河川としては、北海道地方の沙流川の 12 種、近畿地方の円山川、四国地方の那賀川の 11 種、九州地方の緑川の 10 種等でした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- ・ 環境省(庁)編「レッドデータブック」掲載種(2002)

(3) 外来種一覧

今回とりまとめを行った 24 河川で確認された外来種は、アヒル、コジュケイ、ドバト等 10 種でした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (26~27 ページ) および 28 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。